

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1963
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.56, No.10 (1963. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19631001--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1963年10月号

論 説

- 再論『現代大都市論』……………奥井復太郎 1
- 近世初頭中部ドイツの農村都市、市場町について(≡) ……寺尾 誠 18
- アメリカ中西部における商業的農業の展開……………岡田 泰男 61

資料・研究ノート

- 戦後ヨーロッパ経済史の基本性格……………渡辺 國廣 86
- 戦前における企業別労働組合の
発生要因をめぐって……………小松 隆二 96

書 評

- ディートリッヒ・アイヒホルツ著
『1848年の鉄道史における
ユンカーとブルジョアジー』……………飯田 鼎 107

新刊紹介

56 卷 **10** 号

昭和三十三年十月一日発行
昭和三十三年九月二十日発行
昭和三十三年八月二十日発行
昭和三十三年七月二十日発行
昭和三十三年六月二十日発行
昭和三十三年五月二十日発行
昭和三十三年四月二十日発行
昭和三十三年三月二十日発行
昭和三十三年二月二十日発行
昭和三十三年一月二十日発行

昭和三十三年十月一日発行
昭和三十三年九月二十日発行
昭和三十三年八月二十日発行
昭和三十三年七月二十日発行
昭和三十三年六月二十日発行
昭和三十三年五月二十日発行
昭和三十三年四月二十日発行
昭和三十三年三月二十日発行
昭和三十三年二月二十日発行
昭和三十三年一月二十日発行

三田学会雑誌

昭和三十八年九月号

定価 金二二〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 56, No. 9

September, 1963

CONTENTS

Articles	Page
On the Origin of the Economic Ideas in Japan..... <i>T. Shimazaki</i>	1
The New Deal; Fiscal Policies—Analysis of their structures..... <i>M. Oshima</i>	23
Note and Memoranda	
A Short History of Silk-Reeling Industry in Japan and its Structural Change in the Pre- and Post-War Periods (1)..... <i>T. Ojiro</i>	50
Some Notes on Mr. Y. Hamada's Critique of Modernism in His <i>An Introduction to Contemporary Ideology</i> <i>A. Tanaka</i>	68
Book Reviews	
The Economic Structure of the Landowner and the Provincial Capital, by Shiro Morita..... <i>R. Takayama</i>	75
"Imperialism Today Series" 5 vols. ed. by T. Ikumi, N. Imai, M. Udaka, B. Eguchi, M. Yoshimura..... <i>H. Iida</i>	80
[Communication]	
The Method in Marx's <i>Capital</i> and the Conventionalism..... <i>T. Sakurai</i>	86
—a rejoinder to the review by Mr. H. Iida—	

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
 (The Keio Economic Society)
 Editorial communications to be sent to
 the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
 Keio University,
 Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
 Price 120 yen

新刊紹介

- 山中篤太郎著『イギリス労働運動小史
——労働運動の理解のために——』…飯田 鼎 112
- 岡 稔 著『計画経済論序説
——価値論と計画化——』……………加藤 寛 113
- 川田 侃著『世界経済入門』……………矢内原勝 113
- A. ウィリアムズ著『財政と予算政策』……………古田 精司 114
- S. モルニエ他著『コンミュニョンの炬火
栗田勇、浜田泰三訳
——プランキとブルードン——』…野地 洋行 115
- C. P. キンドルバーガー著『外国貿易と国民経済』……深海 博明 116

再論『現代大都市論』

奥井復太郎

はしがき

憶えば一九二〇年の頃であった、当時のわが理財科の主任（学部長）であった堀江掃一博士から専攻として都市経済の研究を命ぜられたのは。今日こそ都市経済という言葉も不思議とは思われない、既に地域経済という言葉すら出来上っている現在である。当時としては漠然と都市研究、それも経済学部の科目としてという程度の理解であつたらう。都市研究のうち、その頃既に一般化されていたものは地方自治制を対象としての市政論があつた。同時に一九二〇年代には都市の経営論と云う可き新しい傾向が起りつつあつた。地方自治体の仕事は、その性格上ビジネスの原理に基く可きであるという考え方にその傾向は示されていたが、米国内政学者のチャールズ・ピアード博士はこの頃来日して、時の東京市長後藤新平の顧問として我国の市政研究に新風を吹き込んだ。

しかし都市行政問題をビジネスの角度から見るとは、諸事万端ビジネス本位に考えがちな米国内政の傾向とのみは見られない。英国には地方行政論に於てシドニー・ウェップがいた。しかもウェップの考え方はその属するフェビアン協会の精神と理論に基いて社会改革の重心を地方自治体に求めて所謂浸透政策を強力に展開していた。都市行政の多くの部門は、可否有無の政治的決定に関するものでなく、その実施は如何に行わる可きかという、今日の言葉で云えば経営管理に関するものである、というのがウェップが浸透政策を